

あなたの
個性が
新しい
信州を創る

New
Normal
Nagano

New Normal Nagano

あなたの個性が 新しい信州を創る

美しい自然、伝統や文化、ものづくり産業、農業、林業—。
長野県は「移住したい県」で国内でも注目度が高い県です。
多様化する働き方でリモートワークなどの環境が整い、
観光地やリゾート地で働きながら、休暇を楽しむ日常。
ワーケーションやリゾートテレワークが実現できる、
「魅力ある地域」と高く評価されています。
新しい働き方、新しいコミュニケーション、新しい暮らし—。
新しい時代が今、始まろうとしています。
ここから未来へ、「しあわせ信州」を創っていく—。
あなたのチカラが、次の扉を開くのです。

クリエイティブな発想で新しい社会を創る！

今、時代は大きな転換点を迎えています。
新型コロナウイルスや度重なる災害から県民の皆様の命と暮らしを守ること。同時に、地方回帰の流れやDX化の動きを好機と捉え、将来に向けた取組をさらに加速させることが求められています。
長野県では、災害の激甚化や頻発化の主たる要因である気候変動に対して、全国に先駆けて「気候非常事態宣言」を発出し、2050ゼロカーボンを目指して取り組んでいます。これは、20年後、30年後、さらにその先を見据えて「新

しい社会を創っていこう」という壮大な取組です。
こうした取組には、職員一人ひとりのクリエイティブな発想が不可欠であり、多くの方々とのコミュニケーションを取りながら業務を進めていかなければなりません。長野県職員を目指している皆さんには、「豊かな創造性」や「人とのコミュニケーション能力」を強く期待しています。私たちとともに長野県の暮らしを支えていく、そして長野県をより元気に、さらに発展させていくという熱い思いを持った皆さんの挑戦を心からお待ちしております。

長野県知事

阿部 奇一

あべしゅいち

長野県職員の魅力

- 県民の「しあわせ」と長野県の発展に貢献できる仕事です。
- 様々な仕事にチャレンジできる多彩な活躍フィールドがあります。
- 各行政分野で高い専門性とスキルが身につきます。
- ワークライフバランスが実現できる充実した支援制度があります。
- 多様な成長機会で自分らしいキャリア形成に挑戦できます。

長野県職員に求められる能力

01

県民の思いを受け止め、
同じ目線で考える「共感力」

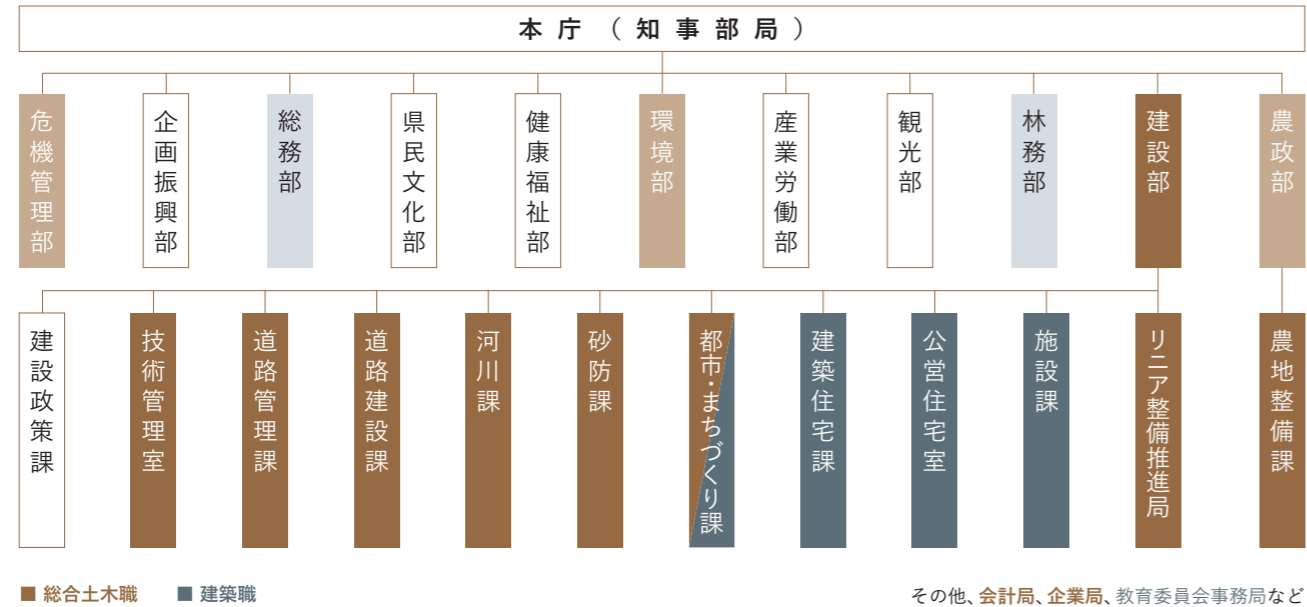
02

自らの発想で企画し、具体的
な成果を出す「政策力」

03

開かれた県政のために、
情報を伝える「発信力」

県の組織と総合土木・建築職員の主な配属先



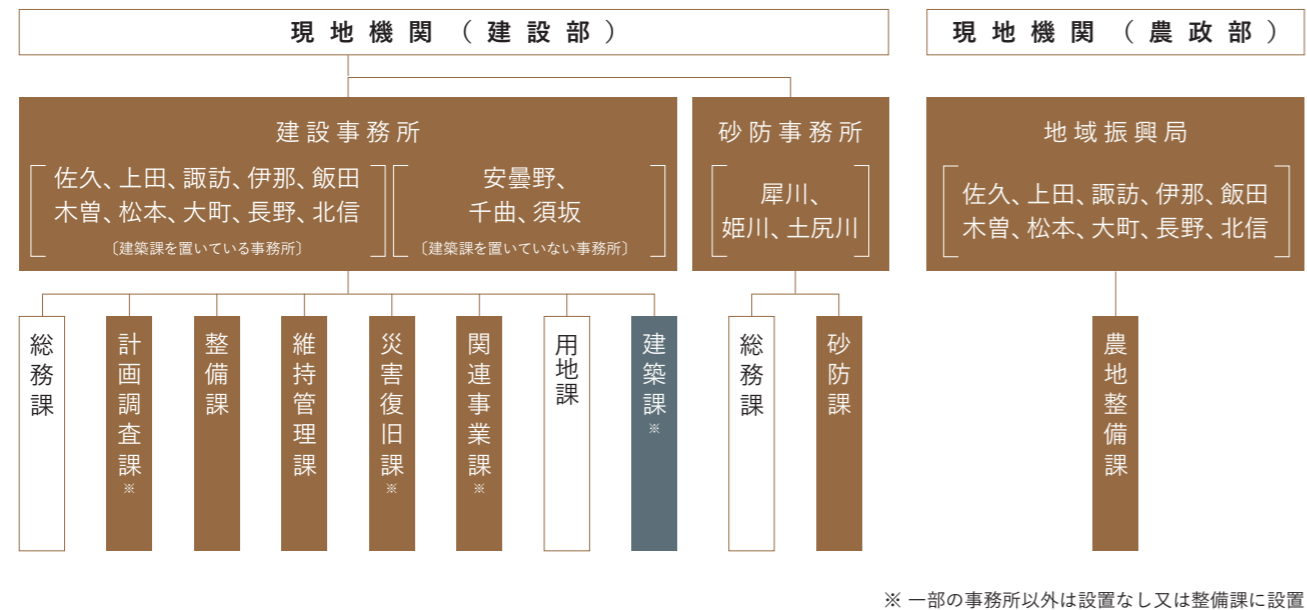
【総合土木】業務内容

長野県の“縁の下の力持ち”

- ① 災害による被害を防ぐ、減らす
洪水対策、土砂災害対策、落石対策、水防、防災教育 など
- ② 暮らし、経済の発展を支える
道路改良、多自然川づくり、橋梁など施設のメンテナンス、農地整備 など
- ③ まちの環境を整える
都市計画、公園整備、市街地再開発、景観、空き家対策 など

【建築】業務内容

- ① 建築物の質を高める
環境配慮、耐震、バリアフリー、防災、安全、快適、県産木材、古民家 など
- ② まちの環境を整える
都市計画、開発、市街地再開発、景観、空き家対策 など
- ③ 住まいを提供する
公営住宅、応急仮設住宅、セーフティネット住宅 など
- ④ 県有施設をつくる
学校、病院、警察署、武道館、美術館、文化会館、陸上競技場 など
- ⑤ 建築・住宅産業の健全な発展を支える
担い手確保、技能継承、設計、施工、宅地建物取引 など



Brand New Days

先輩職員の声

総合土木

未来に残る仕事。胸を張って自分の現場だと言えるように

佐久建設事務所 災害復旧課

小根澤英之



総合土木 平成28年入庁

主な経歴

平成31年～ 広島県東部建設事務所 三原支所工務第一課(自治法派遣 災害復旧)
令和元年～ 佐久建設事務所 整備課
令和2年～ 佐久建設事務所 災害復旧課

Q. どんな仕事をしていますか？

A. 台風被害からの復旧業務です

令和元年東日本台風の復旧計画の作成、災害復旧工事の監督や関係機関との調整などです。大規模災害ですので、県管理施設の復旧に関連して市町村の道路や下水道、農業用施設などの復旧も同時に行います。すべてが円滑に進むように尽力しています。

Q. 仕事をする上でのモットーは？

A. 自分ならどうかー を常に考える

もしも自分がその住人だったなら、どのようにすれば使いやすく、また、安全・安心を得られるのか。それをいつも考えるようにしています。のちに胸を張って、「自分が担当した現場だ」と言えるように業務に取り組んでいます。

Q. 入庁前と入庁後のギャップは？

A. 想像した以上の責任の重さです

楽な仕事とは思っていませんでしたが、近年の激甚化する災害や老朽化したインフラの維持、修理、長寿命化など、大規模でスピード感が求められる仕事が増えています。常に積極的であり、柔軟な対応が求められ、責任の大きさを痛感しています。

Day Schedule

08:00 出勤	12:00 昼食
08:30 メールチェック	14:00 関係機関との打ち合わせ
10:00 工事現場立会	18:00 退庁



Yell for.

受験生への応援メッセージ

自分が携わったものが形としてその場に残る。これは建設業全体の魅力です。中でも計画・設計・工事・維持管理と、最初から最後まで一連で携われ、専門的かつ幅広い経験が得られます。難しいこともありますが、困った時は周りの人たちがサポートしてくれます。ここには頼りになる人がたくさんいますよ！

建設部 砂防課

夏目明歩



総合土木 平成28年入庁

主な経歴

平成28年～ 伊那建設事務所 整備課
平成31年～ 建設部 砂防課

Q. どんな仕事をしていますか？

A. 防災情報の発信をしています

県内の降雨状況や土砂災害危険度などの防災情報を発信したり、「災害伝承」という、各地のお祭り、言い伝え、石碑、地名などに残る災害の歴史、伝承など、防災への関心が高まる情報を集めて県HPに掲載しています。

Q. 県職員になって良かったことは？

A. 情報で地域防災の役に立つこと

この仕事は県民の生命、財産を守ることに直結しています。情報は、砂防ダムなどを造るのと同様に大切な防災の手法です。命を守るために欠かせない早期の警戒と迅速な避難を促すには、適切な情報の提供が重要です。

Q. 入庁前と入庁後のギャップは？

A. 3Kはもう古い

建設というと、「きつい、汚い、危険」といった印象を抱く方も多いと思いますが、実際はそんなことはありません。DXやBIM/CIMの活用を推進していますし、女性技術者も年々増えています。

Day Schedule

08:15 出勤	12:00 昼食
08:30 メールチェック	13:30 雨量等防災情報提供システム定例会
10:00 災害伝承について打ち合わせ	18:00 退庁

Yell for.

受験生への応援メッセージ

女性目線でお話させていただきます。建設部は明るい職場で、女性が女性らしく働くことができます。災害から地元を守る仕事をしたい、建設にちょっと興味があるかも？と思う方、どんどん建設部を目指してください。女性パワーで、もっともっと建設部が盛り上がってほしいなと思っています。



総合土木

土砂災害から県民を守っていく
大きな使命感、責任感を忘れない！



暮らしに欠かせない道路をいつも通りに使えるように

建設部 道路管理課

中村 和央

総合土木 平成15年入庁



主な経歴

平成27年～ 安曇野建設事務所 犀川安曇野流域下水道事務所
平成28年～ 松本建設事務所 奈良井川改良事務所
平成31年～ 建設部 道路管理課

Q. どんな仕事をしていますか？

A. 道路を維持、管理する仕事です

県が管理する国道と県道の維持補修や除雪など、暮らしに欠かせない道路が「いつも通り使える」よう守る仕事です。道の駅を改修して快適にしたり、道の駅との連携や活性化をする仕事もしています。

Q. 県職員を選んでよかったことは？

A. 長野の多様性に触れて仕事ができます

広い長野県。仕事で出会う人、景色、食べ物は、地域によって特色があることを実感します。それぞれの地域が持つ素晴らしい個性を繋ぐ、大きな視点を持った仕事ができるのが県職員の魅力です。



建設部 都市・まちづくり課長

高倉 明子

総合土木 昭和62年入庁



主な経歴

平成29年～ 建設部 都市・まちづくり課 企画幹兼都市計画係長
平成31年～ 建設部 都市・まちづくり課 企画幹 (UDC信州担当)
令和2年～ 建設部 都市・まちづくり課長

Q. 仕事について一言

A. 公・民・学の連携でのまちづくりも

人口減少、超高齢化社会、地球環境問題など、課題は山積み。公民学の連携でまちづくりをサポートする「信州地域デザインセンター」の設立など、時代にふさわしい新しいアプローチを試みています。

Q. 受験生へのメッセージを

A. チャレンジする長野県に関心をもって！

未来に続くまちづくりに向けて、みどりでまちを変える「グリーンインフラ」にも取り組んでいます。未来志向でさまざまなチャレンジを進める長野県に、ぜひ興味を持ってください！

未来に続く魅力あるまちづくりを土木の担う役割は重要です



建設部 建築住宅課

大山 勇斗

建築 平成24年入庁



主な経歴

平成24年～ 木曾地方事務所 商工観光建築課
平成29年～ 建設部 施設課
令和2年～ 建設部 建築住宅課

Q. どんな仕事をしていますか？

A. 建物の耐震化の促進などです

県内の住宅や建築物の耐震化の促進と、そのための国や県の補助金の運用・管理、北信地域の許認可、建築指導の統括的な役割を担っています。ほかに、有害物質アスベストの除去に関すること、消防学校の建築分野の講師なども担当しています。

Q. 仕事を通じて成長できたことは？

A. 相談の回答や案内がスムーズに

一般の方や事業者の方から相談を受けた時、スムーズに回答、案内ができるようになったことです。建築業界では一級建築士などの資格取得が求められます。仕事で得られる経験に、自主的な勉強をプラスすることで、より成長が実感できると思います。

Q. 休日の過ごし方は？

A. 家族ででかけたり、テニスをしたり

妻も公務員で土日祝日の休みが一緒。妻と子どもと家族3人であちこち出かけるのが楽しみです。高校時代から続けている趣味のテニスでは、長野県テニス部の主将を任されています。毎週土日のどちらかは、部で集まってテニスをしています。

Day Schedule

08:15	出勤・メールチェック	13:00	メールでの問い合わせ回答
08:30	公用車で会場へ向かう	14:30	課題に関して先輩と相談・検討
09:00	建築の講師を勤める	16:00	パソコンでの事務作業
12:00	職場で昼食	18:00	退庁

Yell for.

受験生への応援メッセージ

私は長野県で建築に関していろいろな仕事したいと、県職員を選びました。希望通り、幅広い経験ができ、それがさまざまな形で社会貢献につながっていく、やりがいのある仕事です。福利厚生の制度が充実しているので、仕事とプライベートの両立も可能です。ぜひ一緒に仕事をしましょう！



建築のいろいろな仕事ができ、それが社会貢献につながっていく

まちをつくることは、人とまち
人と人をつなげていくことです



建設部 都市・まちづくり課 (UDC信州担当)

東城 葵

建築 平成24年入庁



主な経歴

平成24年～ 佐久地方事務所 建築課
平成31年～ 建設部 都市・まちづくり課
令和2年～ 建設部 都市・まちづくり課 (UDC信州担当)

Q. どんな仕事をしていますか？

A. 未来を考え、創る仕事です

信州地域デザインセンター(UDC信州)では、まちづくりのさまざまな相談への助言、企画提案をしています。「ネットワークのハブ機能」として、情報の集約・発信、学びの場の提供など、人とまち、人と人をつなげる支援にも取り組んでいます。

Q. 県職員になって良かったこと

A. 協働し、成し遂げる仕事にやりがい

大学で学んだ建築にとどまらず、多様な方と同じ目標を掲げて仕事をしたいと県職員になりました。近年のまちづくりの課題は高度化、専門化、多様化しているため、さまざまな立場の方と協働しています。皆で成し遂げる仕事にやりがいを感じます。

Q. 入庁前と入庁後のギャップは？

A. 想像よりずっとアクティブです

入庁前は、公務員はお堅い、まじめ、内勤でルーティンな仕事というイメージでした。そういう面もありますが、いい意味で裏切られます。行政は、関わられる人も多岐にわたり、打ち合わせで出張する機会も多く、視野がとても広がる仕事だと思いました。

Day Schedule

08:15 出勤	11:30 出張
08:30 メールチェック	13:00 ランチ
09:00 UDC常駐メンバーでミーティング	14:00 市町村と打ち合わせ
	18:00 退庁



Yell for.

受験生への応援メッセージ

地域や関わる方々にとってより良いものとは何か、本当に求めているものは何か、相手の立場になって考えながら仕事に取り組むことが大切です。この職場では新しいことや挑戦したいことに取り組むチャンスがあるため、得た経験や出会いは自身のスキルアップはもちろん、仕事にも生きて様々な形で長野県へ貢献できます。皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています！

長野建設事務所 建築課

小池 智博

建築 平成22年入庁



主な経歴

平成22年～ 佐久地方事務所 建築課
平成26年～ 建設部 施設課
平成31年～ 長野建設事務所 建築課

Q. 県職員になって良かったことは？

A. 民間では経験できない仕事です

公共建築工事の監督員や建築基準法などの許認可事務など、民間では経験できない「建築」に幅広く携われることができ、とても充実しています。

Q. 仕事をする上でのモットーは？

A. 「できない」では終わらせない

「実力のない人間がやらなければいけないことは2つ。実力を上げる。できる仕事を全力でやる」。建築の仕事は時に、実力以上の専門知識を求められることも。そんな時に大切にしている言葉です。



建設部 施設課長

塩入 一臣

建築 昭和63年入庁



主な経歴

平成23年～ 建設部 建築指導課
平成26年～ 建設部 建築住宅課
平成27年～ 建設部 施設課 平成31年～ 施設課長

Q. 県の建築職の魅力は？

A. 仕事の幅が広いこと

県の建築の仕事は施主であり、設計事務所であるとともに、官公庁にしかできない制度設計や許認可の仕事まで幅広い経験ができます。経験を積みながら、得意分野を見つけていくこともできる職場です。

Q. 幹部職員として思うことは？

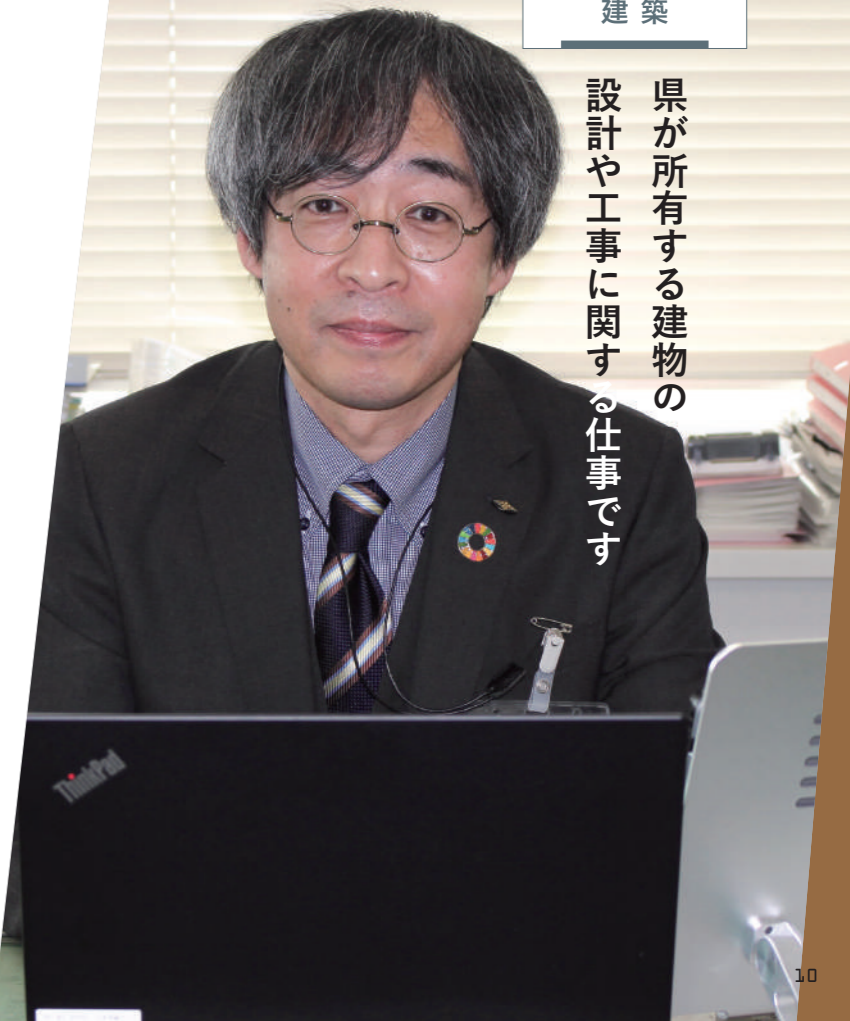
A. 組織の健全は、職員の健全から

組織目標の達成に向けて、一人ひとりの職員が自ら考え行動できるためには、職員とその家族が健全であることが重要です。職場全体のワークライフバランスを大切にしています。

「建築」の面から暮らしをサポート
秩序あるまちづくりを目指して



県が所有する建物の
設計や工事に関する仕事です



研修制度

職員が主体的に学び続けるとともに、集団としての意識と能力を継続的に高め、伸ばし続ける「学ぶ県組織」への転換を目指しています。

職位に応じたキャリア形成研修（新規採用、採用3年目、5年目など）、スキルアップ等を目的とした能力開発研修のほか、民間企業や市町村・国等への派遣研修など、多様なカリキュラムで構成されています。なお、新規採用職員に対しては、配属先の先輩職員等が教育担当者となり、必要な指導・助言を行っています。

民間派遣先（令和2年度実績）

- (独)都市再生機構
- JR東日本(株)長野支社
- ソフトバンク(株)
- トヨタ自動車(株)
- 三井物産(株)
- など

省庁派遣先（令和2年度実績）

- 内閣府
- 経済産業省
- 総務省
- 国土交通省
- 外務省
- 日本政府観光局
- など

派遣職員の声



国土交通省派遣

山田 晃

総合土木 平成24年入庁

主な経歴

平成28年～ 建設部 砂防課
平成31年～ 松本建設事務所 計画調査課
令和2年～ 国土交通省 水管理・国土保全局 砂防部 保全課

すべての経験を活かし、 県民の皆様の生命や財産を守る

Q・派遣先ではどんな仕事をしていますか？

A・砂防事業の執行管理・指導です

土砂災害から人命や国土を守るため、国が実施する砂防事業が適切かつ円滑に進むよう、事業の執行管理や指導を行っています。

Q・仕事をする上でのモットーは？

A・どうすべきかを常に考える

土木でも砂防分野に長く携っており、県民の皆様の生命や財産を守るためには、どうすべきかを常に考えています。「土木＝コンクリート」と思う方が多いかもしれませんが、土砂災害の危険のある場所や避難方法、避難場所を周知する「ソフト対策」も積極的に行っていて、どうしたらわかりやすく伝えられるかと日々頭を悩ませながらも精一杯業務に取り組んでいます。

Q・派遣研修で得た学びは？

A・全国の事例や新しい知見・技術を経験

国土交通省への派遣では、全国の様々な土砂災害現象や対策方法を学ぶことができ、最新の知見や技術に触れることもできます。また、全国の優秀な技術者の方々の意見を聞くことや、指導を仰ぐこともできます。それらすべての経験を県の仕事に活かしたいと思います。



職場環境について

給与制度

令和2年4月の初任給（大卒・地域手当を含む）です。社会人等の経歴のある人は、これより高い初任給が支給されます。

その他、期末・勤勉手当（年間4.40ヶ月分）、状況に応じて通勤手当、扶養手当、住居手当等が支給されます。

区分	採用時
行政職・専門職（下記以外）	約 195,000円
薬剤師（6年制大学卒）	約 221,000円
管理栄養士	約 202,000円
保健師	約 226,000円

勤務時間／休日／休暇

勤務時間

原則として午前8時30分から午後5時15分まで

休日

完全週休2日制
（原則として、休日は土・日・祝日及び年末年始）

休暇制度

年次有給休暇（年20日／4月新規採用者は15日）、夏季特別休暇（5日間）、結婚休暇（連続7日間）、産前・産後休暇（出産前後各8週）、育児休業（子が3歳になるまでの間）など

多様な働き方を支援する制度

テレワーク

県内13か所に設置されているサテライトオフィス勤務、在宅勤務、そのほかの場所でのモバイルワークを行うことができます。こうしたテレワークは、1時間単位で実施可能です。

時差勤務

勤務時間（午前8時30分から午後5時15分）を前後にずらして勤務することができます。育児や介護など、様々な状況にあわせて使い分けることができます。

テレワークで多様な働き方が実現

ワークライフバランスを 理想的に実現できています

テレワークや時差勤務が推進され、多様な働き方ができるようになってきました。在宅勤務時も専用の機材を利用することで、職場とほぼ同じ環境で働くことができます。本来かかる通勤時間を趣味の時間として活用したり、午前中だけ休暇をとって子どものお遊戯会に参加したりと、ワークライフバランスを理想的に実現できています。



ライフステージに合わせて
柔軟な働き方をサポート



県民文化部 次世代サポート課

澤 邊 翔 太

行政 平成26年入庁

主な経歴

- 平成29年～ 小川村 総務課 総合戦略推進室 研修派遣
- 平成30年～ 建設部 都市・まちづくり課 全国都市緑化信州フェア推進室
- 平成31年～ 県民文化部 次世代サポート課

男女を問わず仕事と家庭の両立を実現する一。職員が育児休暇などをためらわずに取得できるよう、職場環境づくりと制度整備の両面からサポートします。女性職員が出産を理由に退職することもほとんどありません。

ワークライフバランス制度を利用した先輩に話を聞きました！

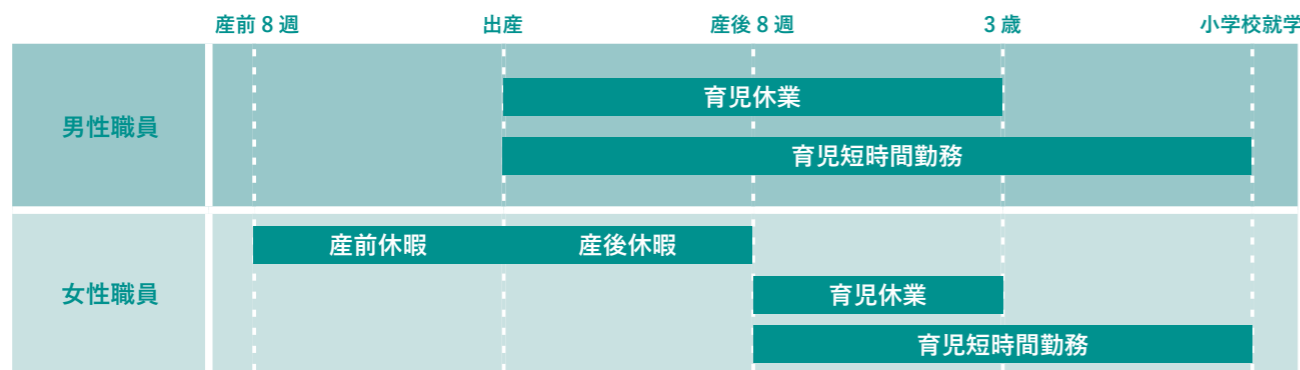
男性職員の育児休暇も非常に取りやすい雰囲気です

妻の妊娠を上司に報告した時、「育児はいつから取るの？」と、当たり前のように言われました。育児の取りづらさをまったく感じませんでした。1カ月間の育児中の業務は、係内で分担してもらい、進捗状況もこまめに報告してもらえたので、心置きなく育児や家事に専念できました。私たちは働きながら、さまざまなライフイベントを

迎えます。長野県庁には多様で柔軟な働き方を可能にする制度と、それを実現する温かな職場の雰囲気があります。

育児で時間の使い方に変化がこの経験は仕事にも生きます！

育児中は家事に育児に、妻と共に忙しい日々を過ごしました。しかし、そのおかげで時間に対する意識が格段に上がったのです。仕事にも生かせる有意義な経験だったと思っています。



男性職員には出産補助休暇(3日以内)、育児休暇(5日以内)といった特別休暇もあります。その他にも、職員の希望に基づく時差勤務制度など、ワークライフバランスの実現に役立つ制度が充実しています。

Q 受験案内はどこで手に入りますか？

A ホームページからダウンロードしていただけます。



Q 試験問題は公表されていますか？

A 試験で出題するものと同程度の問題を「例題」として、また、論(作)文試験及び大学卒業程度試験のグループワークの課題をホームページで公表しています。科目別出題数や試験問題の形式については、各試験の「受験案内」でお知らせします。

Q 大学卒業程度試験は、大学卒業または卒業見込みでないと受験できないのですか？

A 所定の年齢要件を満たしていれば、どなたでも受験することができます。(技術系職種の一部は、2021年度から受験資格を拡大しました)学歴や大学などでの専攻は合否に影響ありません。なお、職種によっては免許などが必要な場合があります。

Q 受験には公務員試験のための特別な準備が必要ですか？

A 大学卒業程度試験の場合、一般的な知識や知能を問う「教養試験」と試験区分に応じた専門知識や能力を問う「専門試験」を実施しています。また、より多くの方に受験いただけるよう、行政区分の一部及び技術系職種の区分では「教養試験」に代えて民間企業の採用試験でも使われる問題を使用し、行政区分の一部では「専門試験」に代えて自らの経験や実績等をアピールする試験を取り入れています。

Q 複数の試験を受験することはできますか？

A 試験の併願は、それぞれの受験資格を満たしていれば可能です。しかし、同じ試験の中での異なる試験区分の申し込みは一部を除いて認められません。詳しくは、各試験の受験案内をご覧ください。

Q 県外出身者は不利になるのでしょうか。

A 採用試験は地方公務員法の平等取扱の原則に基づき実施しているため、性別や年齢、県外・県内出身の別、出身大学・学部などによって有利、不利になることはありません。

Q 試験に合格すれば必ず採用されますか？

A 最終合格すると、採用候補者名簿に登載されます。その後の採用手続きは、各任命権者(知事など)が行います。近年の状況としては、本人辞退等を除き、合格者全員が採用されています。なお、欠格条項に該当することとなった場合などには採用されません。

Q 勤務地や職務についての希望はどの程度かなえられますか？

A 新規採用者の場合は、意向確認の打ち合わせの際に希望を伝えることができます。また、定期の人事異動に関しては、年に1回全職員を対象に希望調査を行っています。ただし、必ずしも希望どおりになるとは限らないため、興味の幅を広げ、柔軟に職務に対処できるような心構えも必要です。また、職員の意欲や能力を引き出すため、特定の業務への従事を希望する職員の募集(組織内公募)も行っています。

配属・異動・昇任

配属・異動

新規採用職員は、県庁各課をはじめ地域振興局、保健福祉事務所、建設事務所などに配属され、概ね3年間勤務した後に初めて異動します。その後は3～4年ごとに異動するのが一般的です。行政職は特定の部局を越えて、様々なフィールドで活躍できます。

昇任

採用時の職種や学歴などにとらわれず、能力・実績主義の原則に基づき、公平、公正に選考されます。





長野県PRキャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ

長野県職員採用案内HP

<https://www.pref.nagano.lg.jp/jinjii/kensei/soshiki/soshiki/boshu/>

長野県職員採用

検索



ツイッターで情報発信中！
@Nagano_saiyo



Youtubeで情報発信中！



長野県職員（総合土木職・建築職）をめざす皆さまへ

<https://www.pref.nagano.lg.jp/kensetsu/kensei/soshiki/soshiki/kencho/kensetsu/gijyutushoku.html>



長野県建設 広報
@NaganoCivil_PR



長野県建設 シューカツ
@NaganoCivil_JOB



長野県人事委員会事務局（県庁8階）任用係 TEL **026-235-7465**（直通）

E-mail jin@pref.nagano.lg.jp FAX 026-235-7492

長野県庁 〒380-8570 長野市大字南長野字幅下692-2 TEL 026-232-0111（代表）